

胆道系疾患 外科・内科

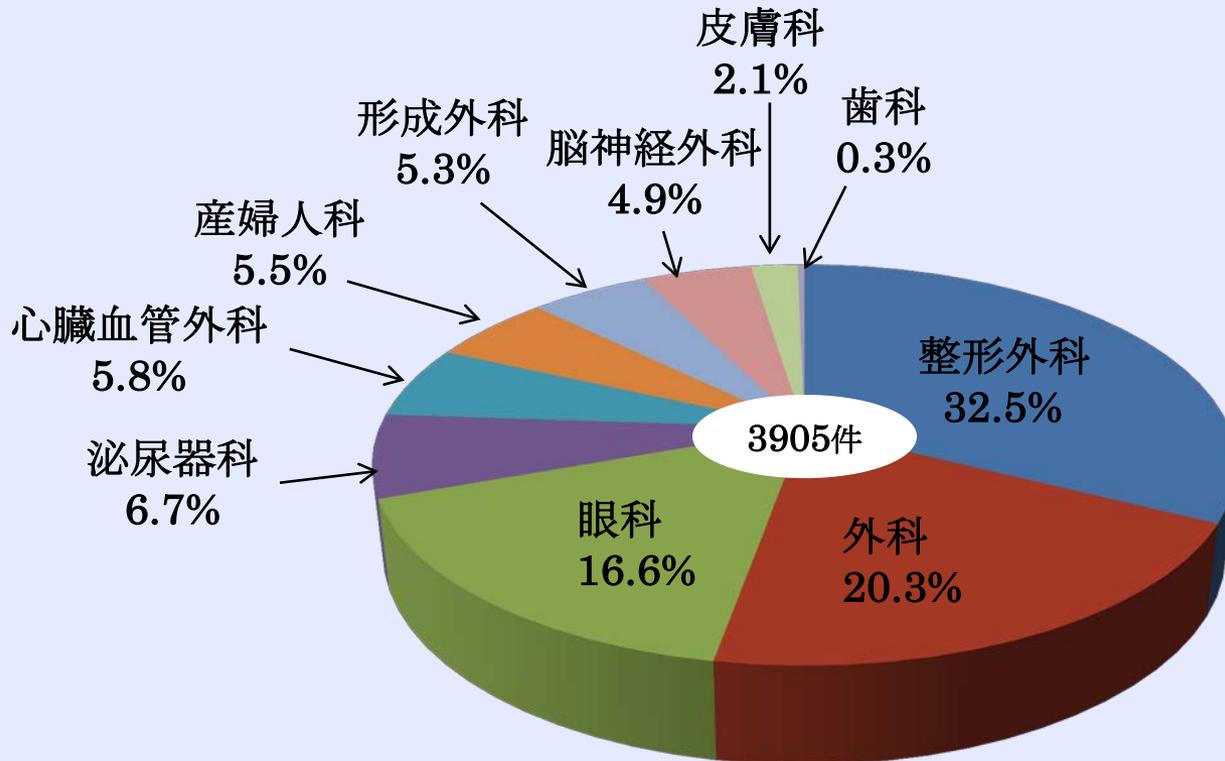
津山中央病院 外科

窪田康浩

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
外科	午前	1診	宮島 孝直	黒瀬 通弘	林 同輔	黒瀬 通弘	徳田 直彦	(担当医)
		2診	木村 圭佑	林 同輔	野中泰幸(緩和)	宮島 孝直	木村 幸男	(担当医)
		3診	梶岡 裕紀	野中泰幸(緩和)	窪田康浩	松村 年久	松村 年久	
		4診	橋本/劔持	宮本 学	佐藤 浩明	鳴坂 徹	山本 堪介	\
		5診	(1週毎に交代)		徳田 直彦		橋本/劔持	
							乳腺外来担当医	

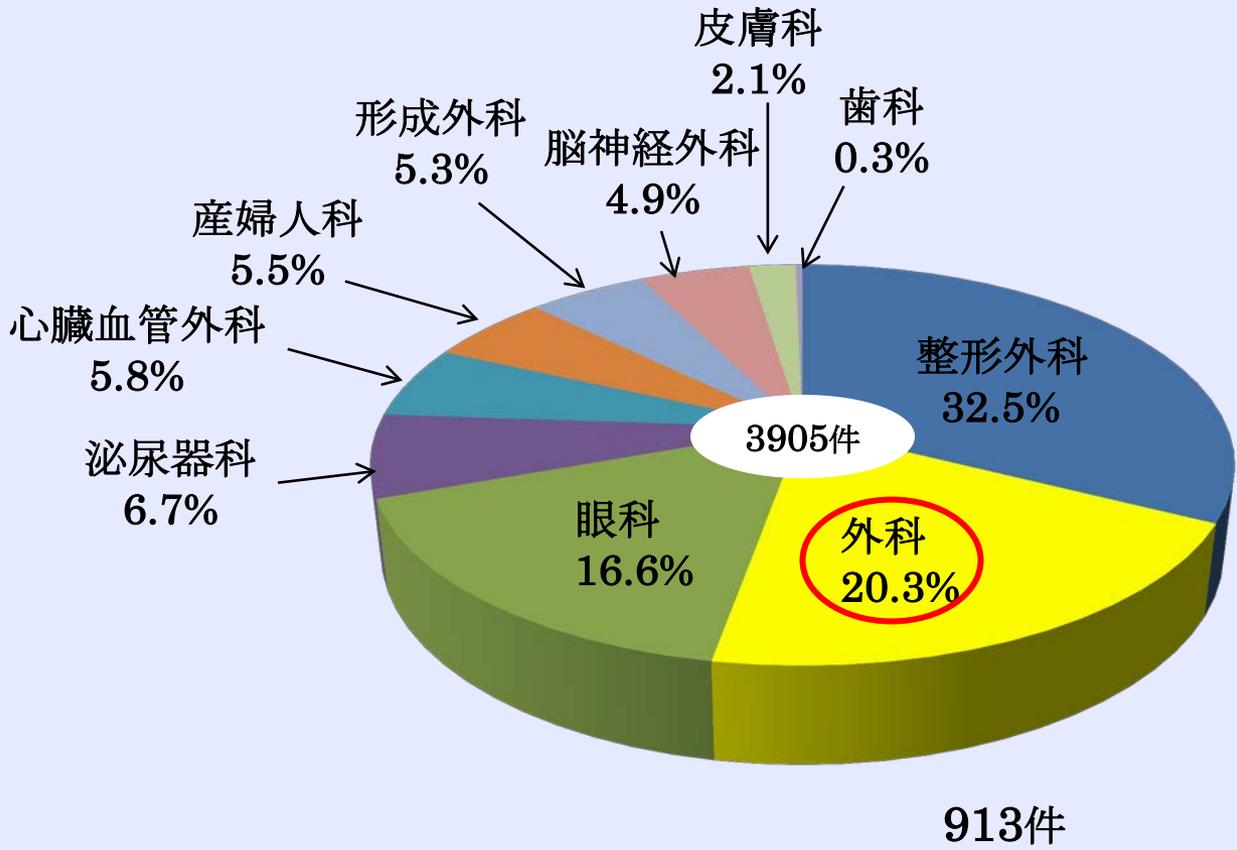
一般外科（消化器、肝胆膵外科）

2011年手術件数



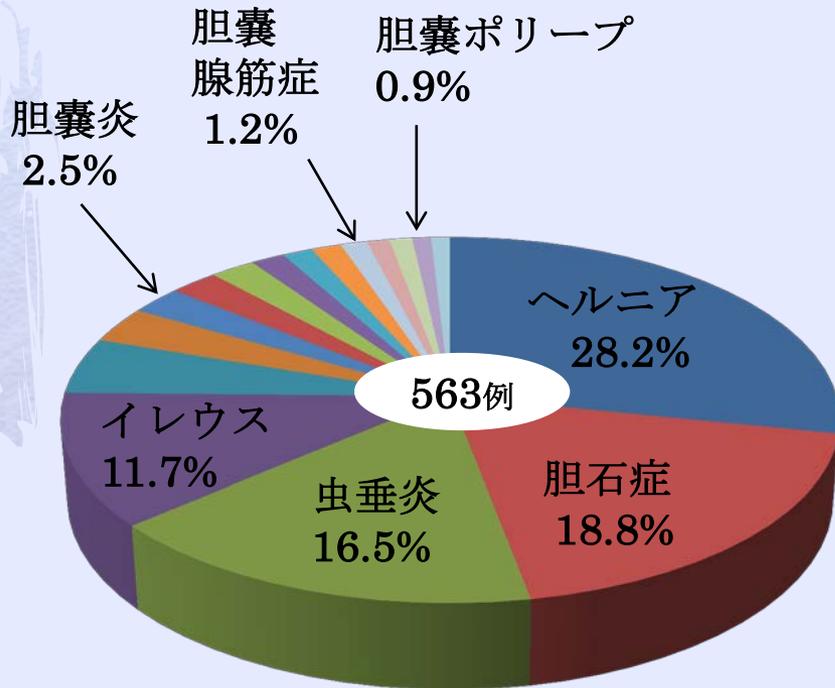
津山中央病院ホームページより

2011年手術件数



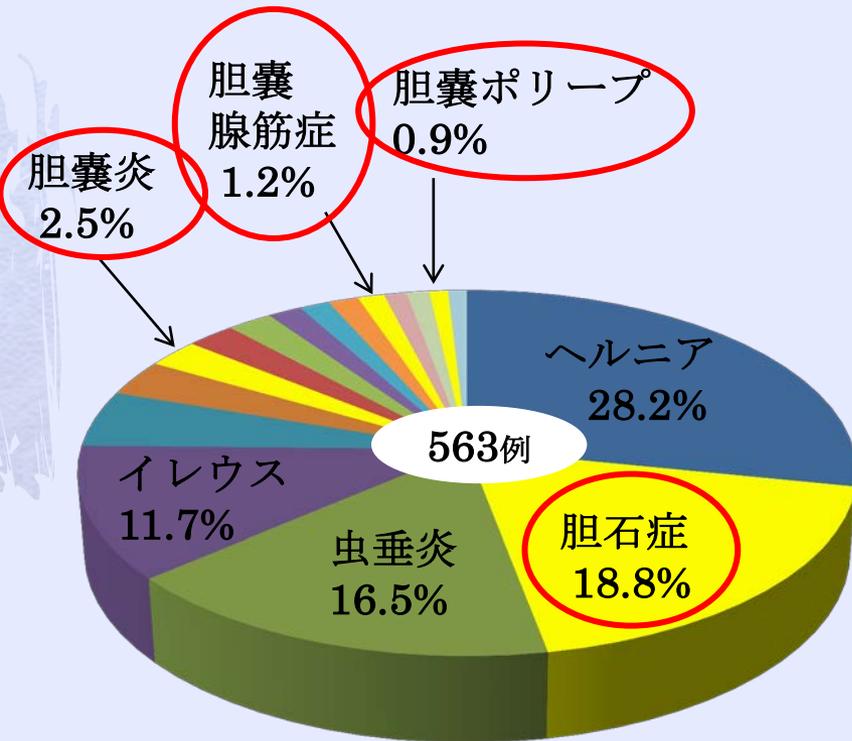
津山中央病院ホームページより

年間外科手術症例数（2011年） —胆道疾患・膵疾患手術の割合—



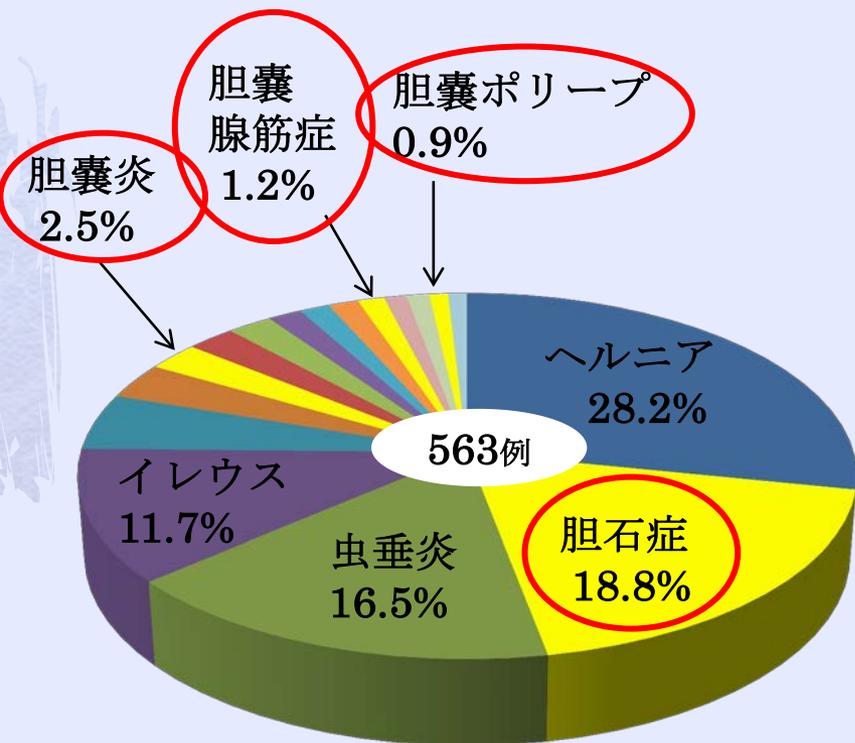
良性疾患

年間外科手術症例数 (2011年)
—胆道疾患・膵疾患手術の割合—

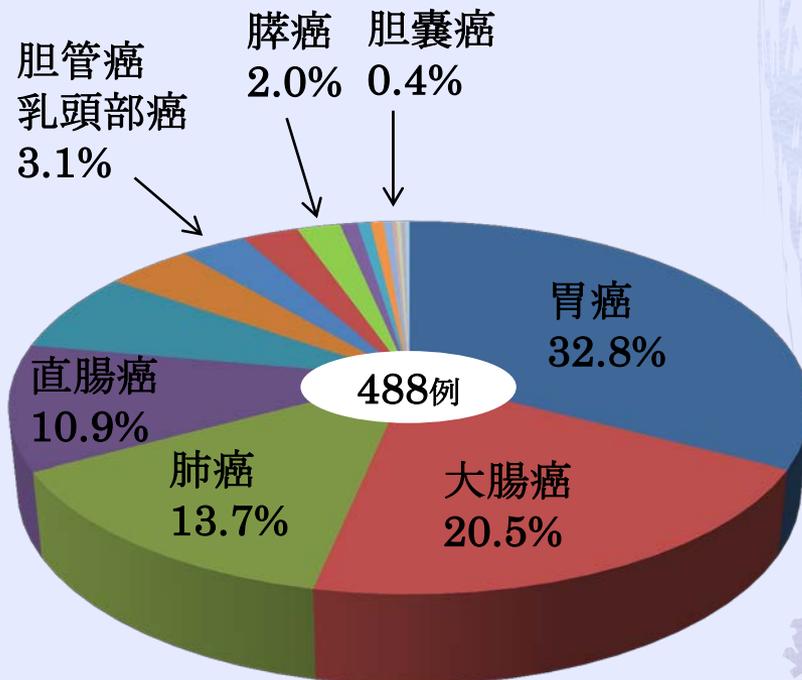


良性疾患
138例 24.5%

年間外科手術症例数（2011年）
 —胆道疾患・膵疾患手術の割合—

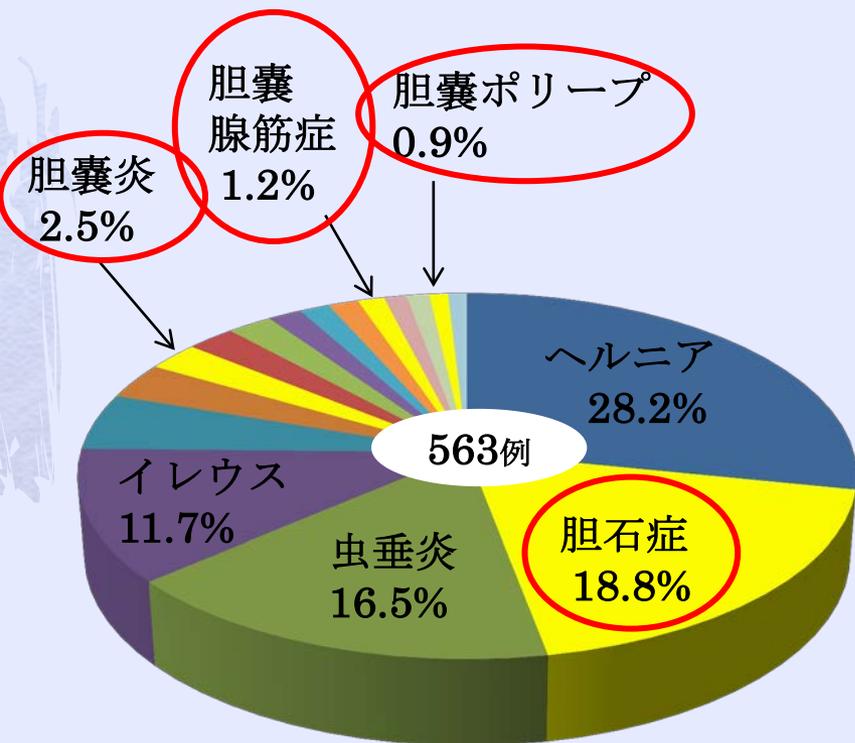


良性疾患
 138例 24.5%

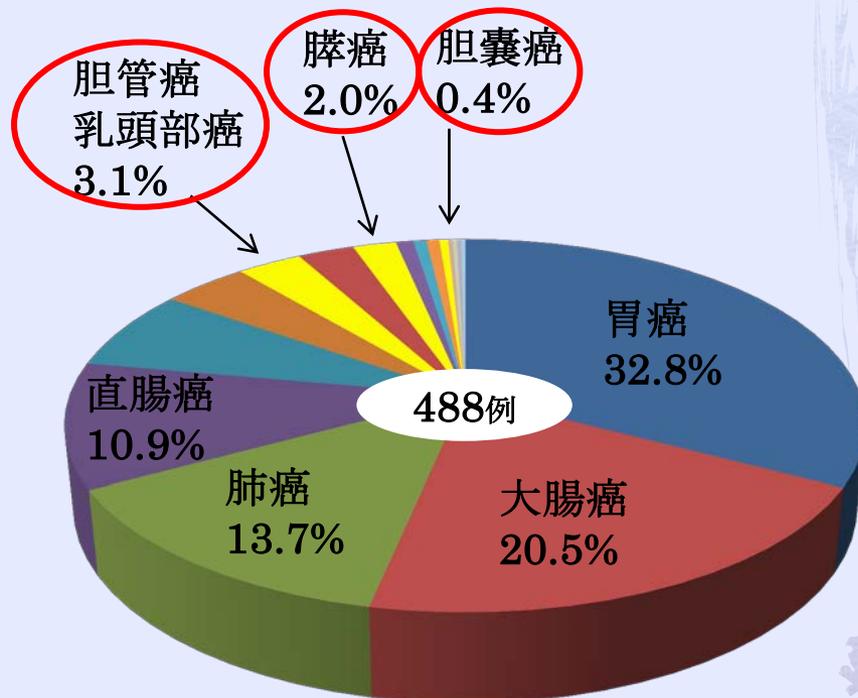


悪性疾患

年間外科手術症例数（2011年）
 —胆道疾患・膵疾患手術の割合—



良性疾患
 138例 24.5%



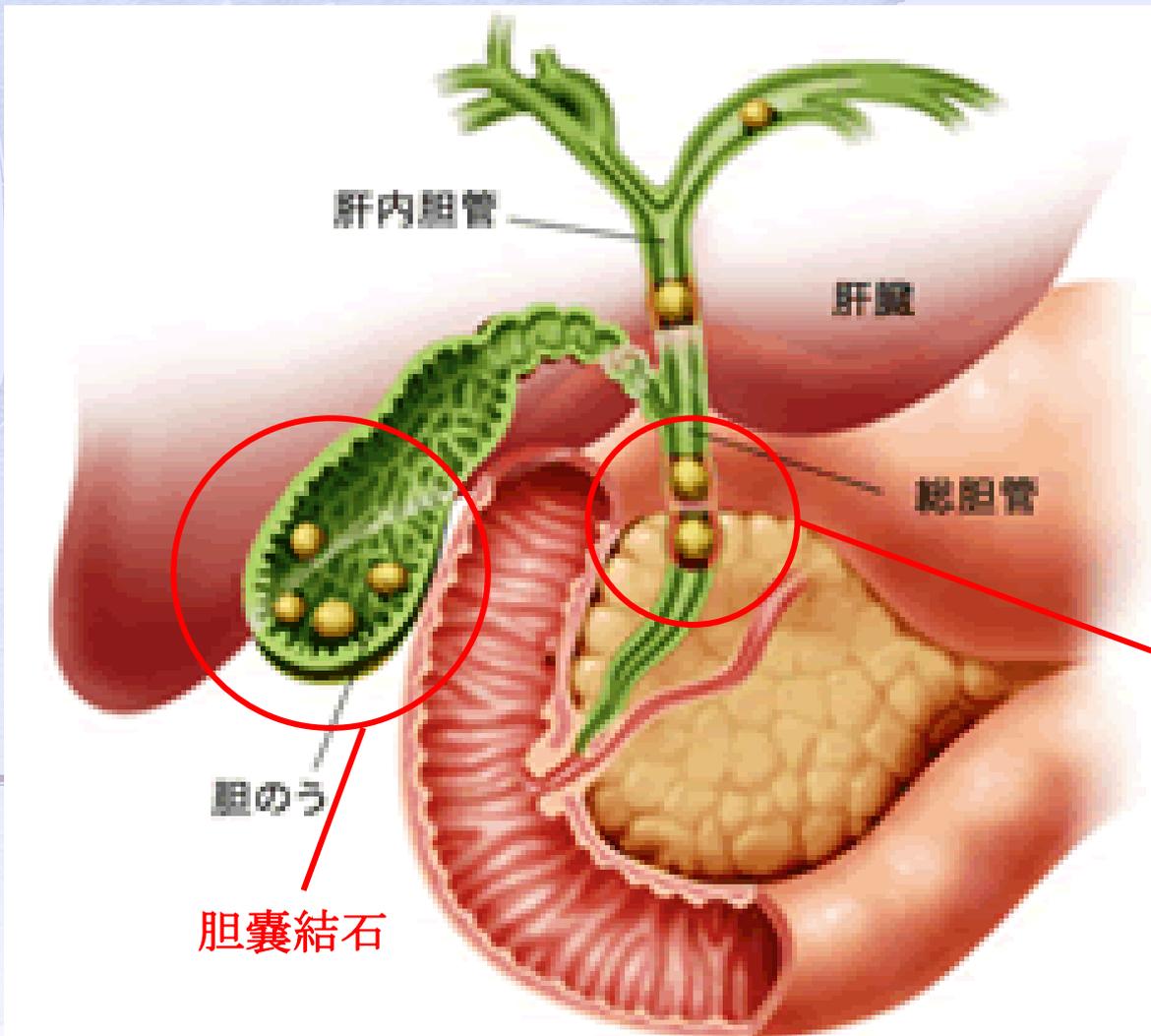
悪性疾患
 27例 5.5%

本日のお話

- 胆石症、総胆管結石症
- 急性胆嚢炎、胆管炎
- 閉塞性黄疸を呈する疾患
(上記疾患、胆嚢癌、胆管癌、膵頭部癌)

本日のお話

- 胆石症、総胆管結石症
- 急性胆嚢炎、胆管炎
- 閉塞性黄疸を呈する疾患
(上記疾患、胆嚢癌、胆管癌、膵頭部癌)



- 胆嚢結石 . . . 症状があれば原則手術
手術は『腹腔鏡下胆嚢摘出術』が標準
- 総胆管結石 . . . 内視鏡的切石、採石
- 胆嚢結石 + 総胆管結石 . . . まずは内視鏡的切石、採石を試みる.
その後手術『腹腔鏡下胆嚢摘出術』

内視鏡的処置困難症例



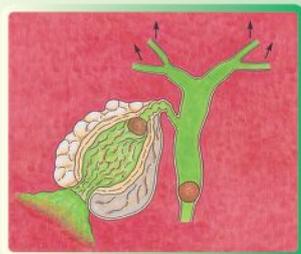
手術（腹腔鏡または開腹）による胆嚢摘出および総胆管採石術

科学的根拠に基づく

急性胆管炎・胆嚢炎の 診療ガイドライン

急性胆道炎の診療ガイドライン作成出版委員会 編 [第1版]

厚生労働科学研究（医療技術評価総合研究事業）
急性胆道炎の診療ガイドラインの作成、普及に関する研究班
日本腹部救急医学会
日本胆道学会
日本肝胆膵外科学会



医学図書出版株式会社

—TG13 新基準掲載—

[第2版]

急性胆管炎・胆嚢炎 診療ガイドライン2013

急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン改訂出版委員会
日本腹部救急医学会
日本肝胆膵外科学会
日本胆道学会
日本外科感染症学会
日本医学放射線学会



医学図書出版株式会社

急性胆嚢炎の診断基準

- | | | | |
|----|------------------------------|----|----|
| A. | 右上腹部の腫瘍触知・自発痛・圧痛、Murphy sign | | |
| B. | 発熱、白血球数・CRP値の上昇 | 炎症 | 疼痛 |
| C. | 急性胆嚢炎の特徴的画像検査所見 | | 画像 |

確診： Aのいずれか+Bのいずれか+Cのいずれかを認めるもの
疑診： Aのいずれか+Bのいずれかを認めるもの

「急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2013」より

急性胆嚢炎と鑑別すべき疾患

- 胃十二指腸潰瘍
- 急性肝炎
- 急性膵炎
- 胆嚢癌
- 肝膿瘍
- **Fitz-Hugh-Curtis**症候群
- 右下肺葉の肺炎
- 狭心性、心筋梗塞
- 尿路感染症

「急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2013」より

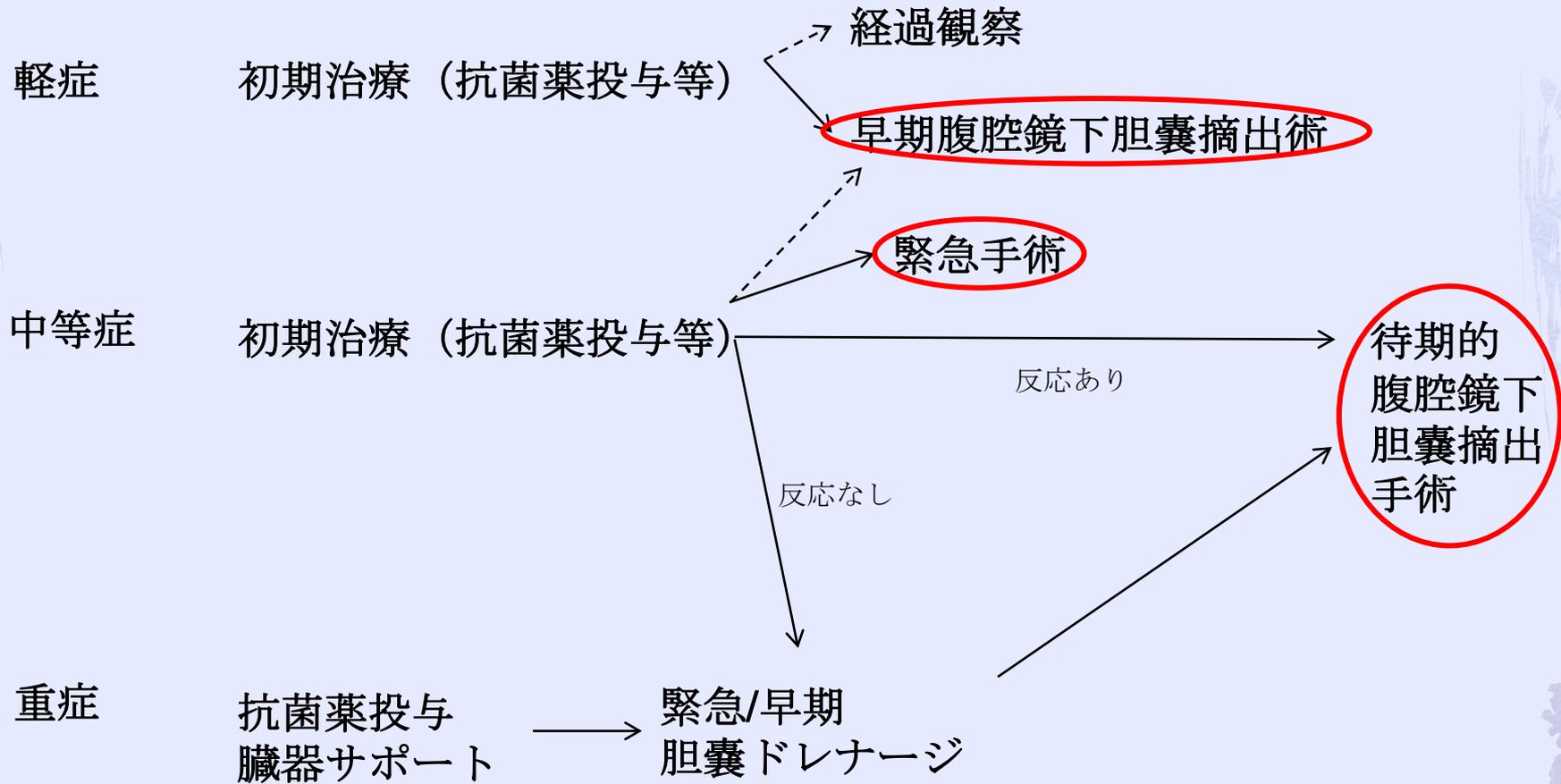
急性胆嚢炎重症度判定基準

軽症	中等症、重症に満たないもの
中等症	以下のいずれかを伴う場合
	WBC >18000/mm ³
	右季肋部の有痛性腫瘤触知
	発症から72時間以上症状持続
	顕著な局所炎症所見（壊疽性、気腫性、周囲膿瘍、肝膿瘍、胆汁性腹膜炎）
重症	以下のいずれかを伴う場合
	循環障害(ドパミン \geq 5ug/kg/分orノルアドレナリン使用)
	中枢神経障害(意識障害)
	呼吸機能障害(PaO ₂ /FiO ₂ <300)
	腎機能障害(乏尿or Cr>2.0mg/dL)
	肝機能障害(PT-INR >1.5)
	血液凝固異常(PLT<10万/mm ³)

炎症が強い

全身状態
不良

急性胆嚢炎の治療フローチャート



「急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2013」より

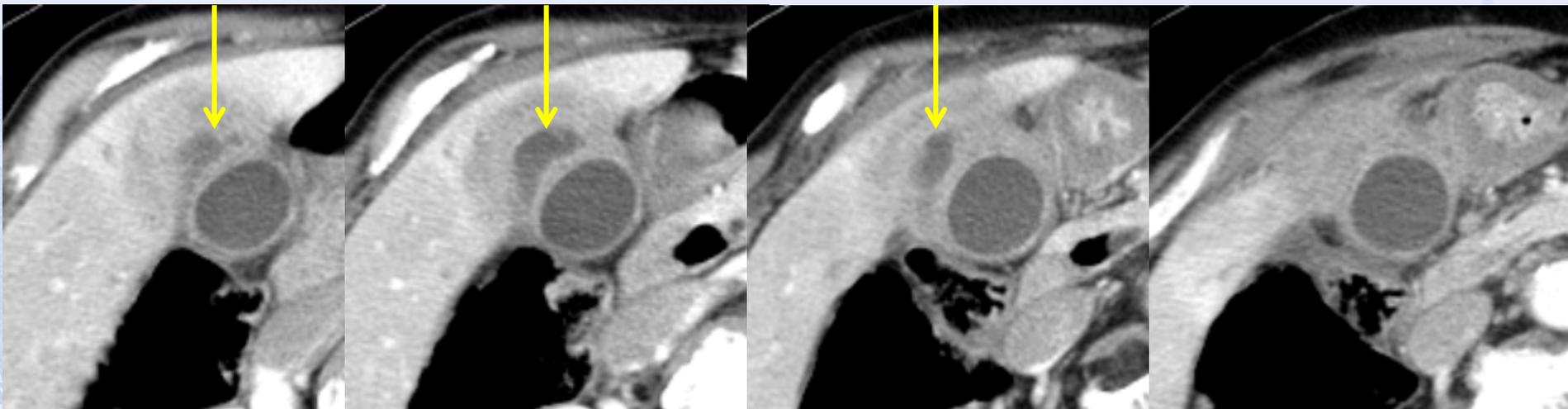
抗菌薬投与や胆嚢ドレナージで炎症が消退しても、再燃予防のために胆嚢摘出術をすることが望ましい

急性胆嚢炎重症度判定基準

軽症	中等症、重症に満たないもの
中等症	以下のいずれかを伴う場合
	WBC >18000/mm ³
	右季肋部の有痛性腫瘤触知
	発症から72時間以上症状持続
	顕著な局所炎症所見 (壊疽性、気腫性、周囲膿瘍、肝膿瘍、胆汁性腹膜炎)
重症	以下のいずれかを伴う場合
	循環障害(ドパミン \geq 5ug/kg/分orノルアドレナリン使用)
	中枢神経障害(意識障害)
	呼吸機能障害(PaO ₂ /FiO ₂ <300)
	腎機能障害(乏尿or Cr>2.0mg/dL)
	肝機能障害(PT-INR >1.5)
	血液凝固異常(PLT<10万/mm ³)

症例

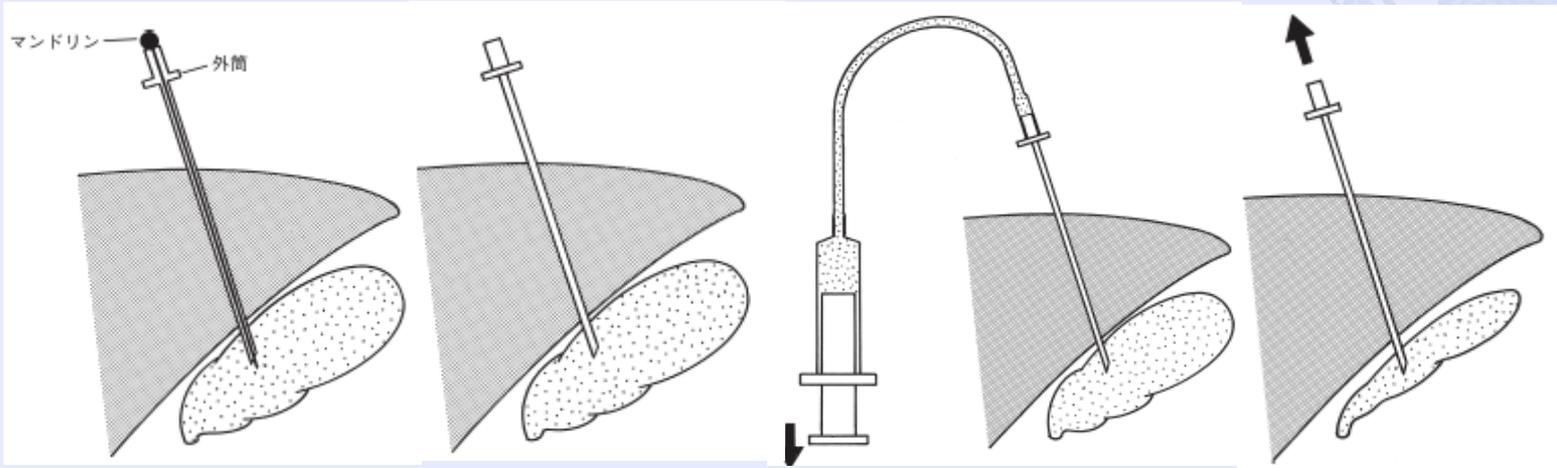
胆嚢炎、胆嚢周囲膿瘍



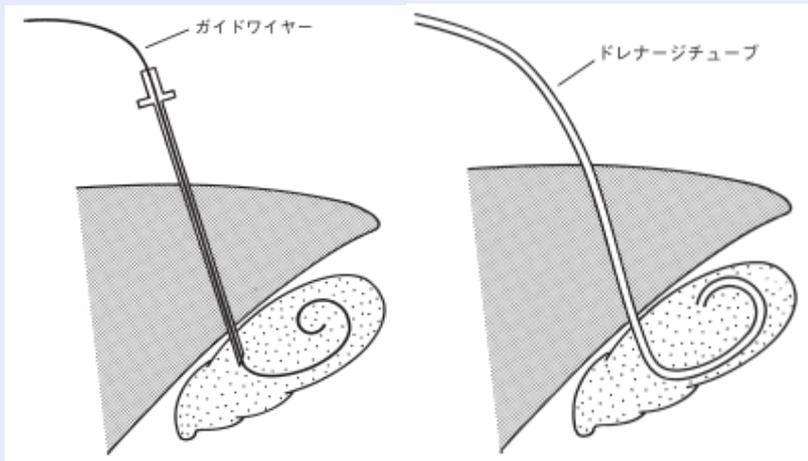
「急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2013」より

2013/8/27 CCセミナー

PTGBA

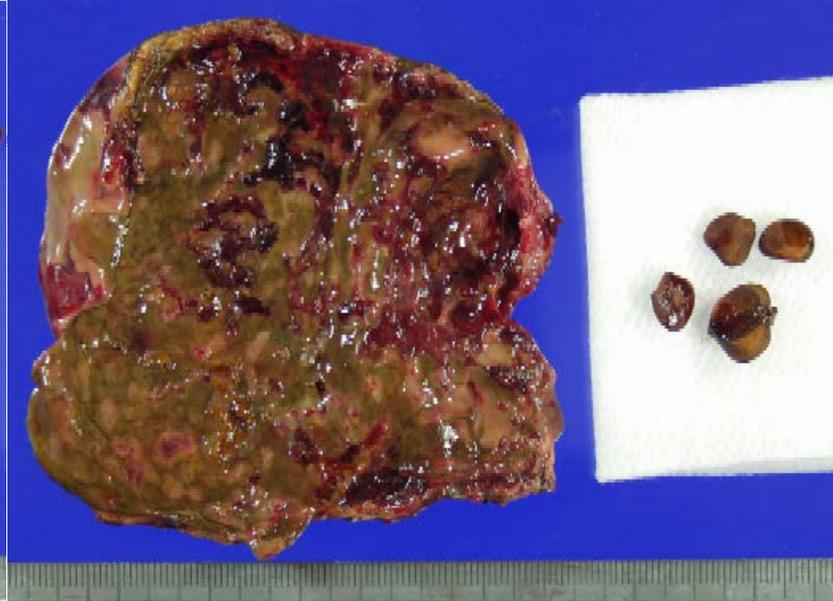
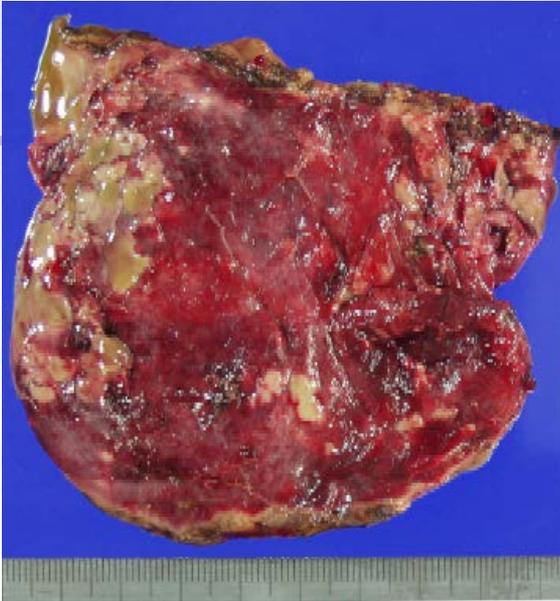
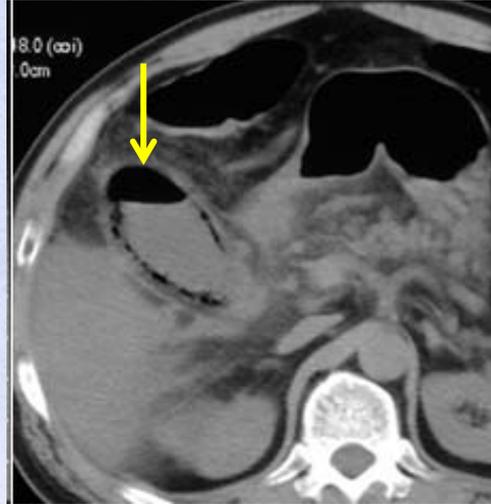
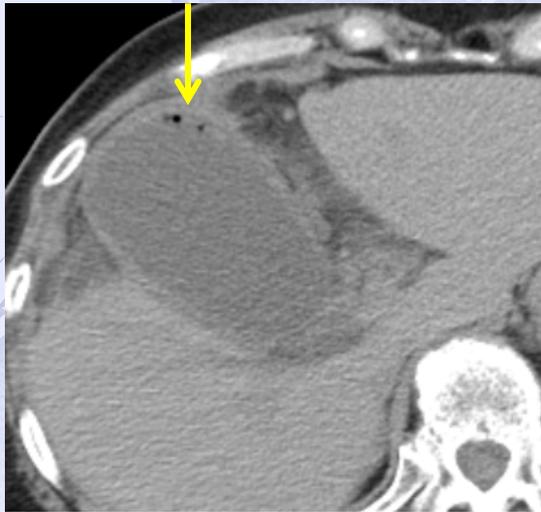


PTGBD



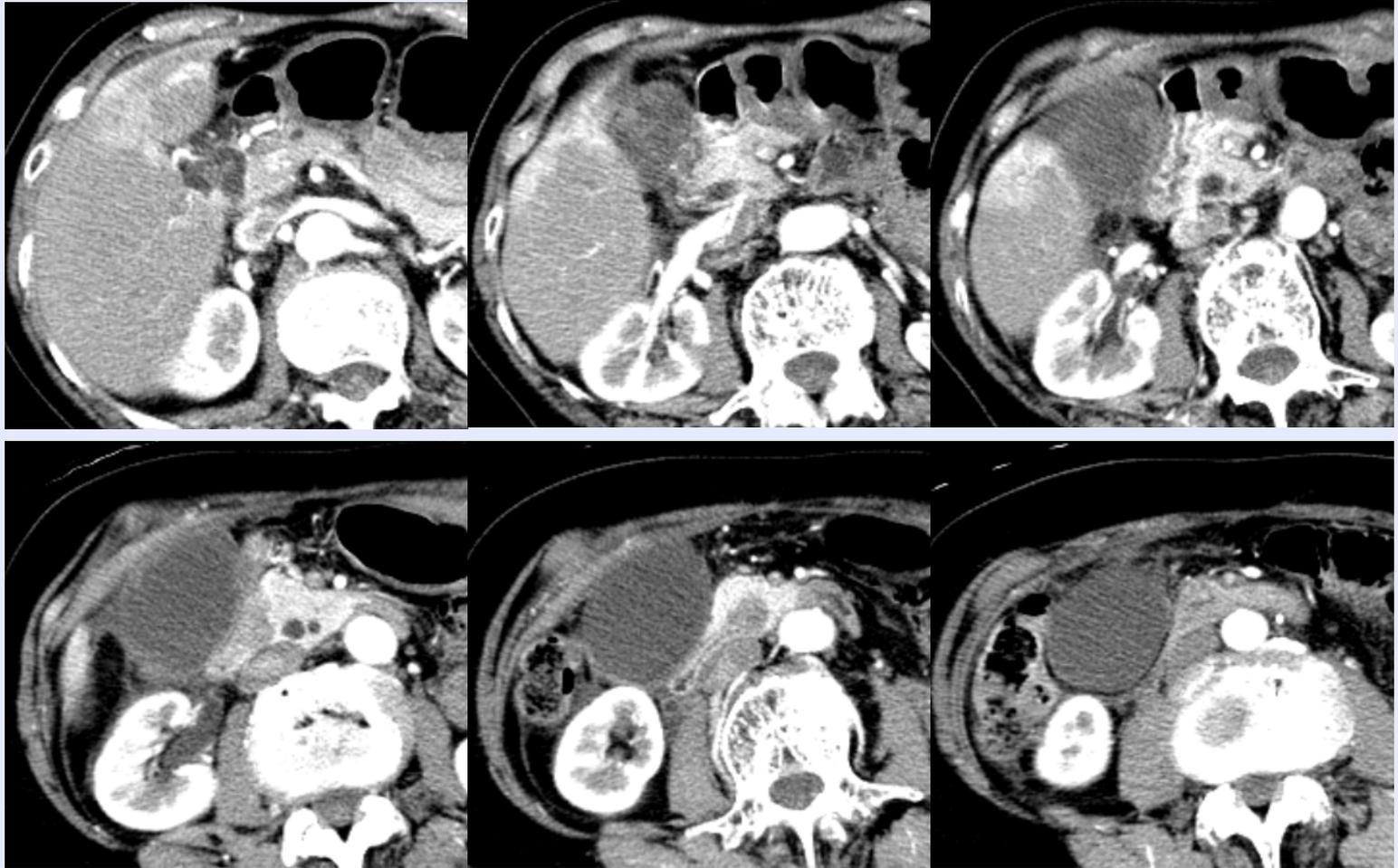
「急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2013」より

気腫性胆嚢炎 壊死性胆嚢炎

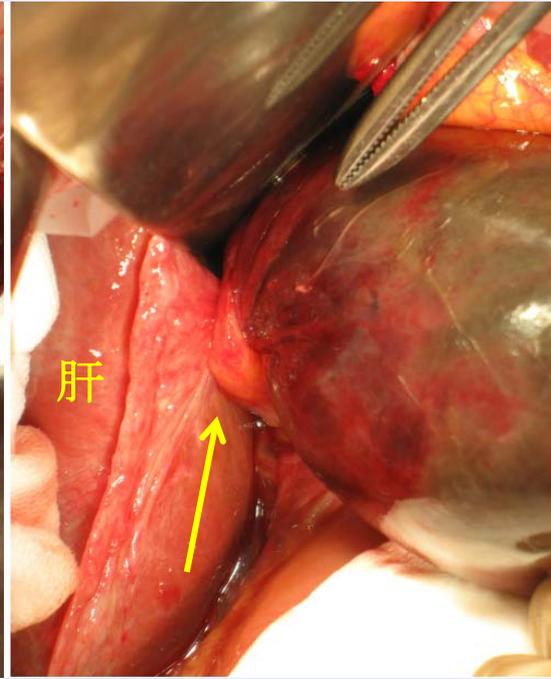
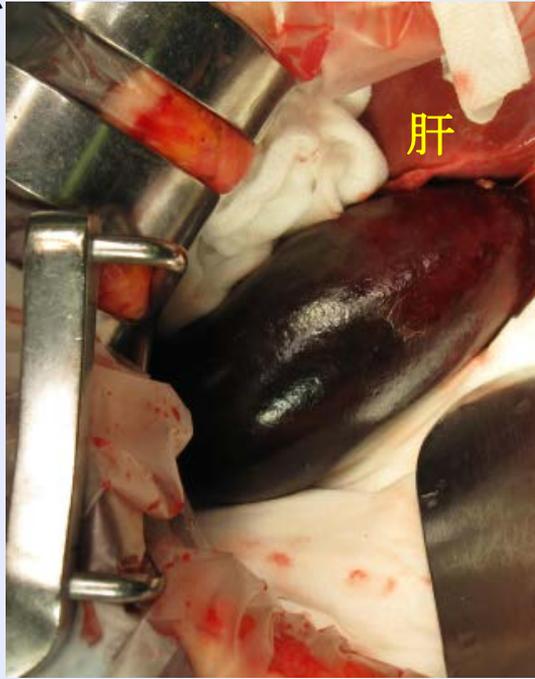


特殊な胆嚢炎

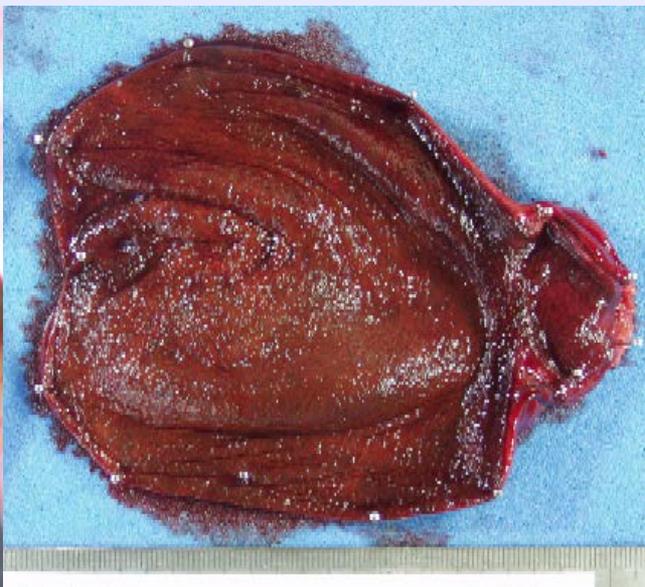
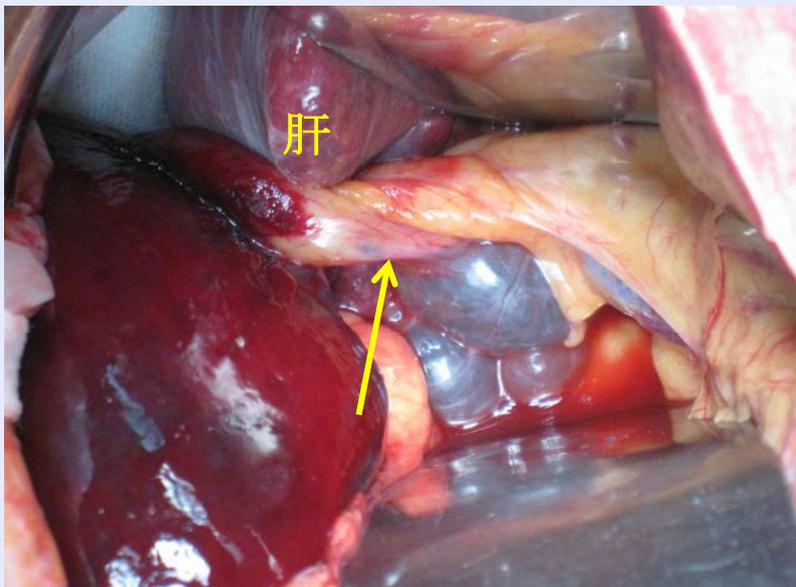
—胆嚢捻転症—



頭側



頭側



急性胆管炎の診断基準

- | | | | | |
|----|--------------------------------|----|-------|---------|
| A. | 発熱、血液検査で炎症反応所見 | 炎症 | 胆汁うっ滞 | 胆管拡張/狭窄 |
| B. | 黄疸、血液検査で肝機能検査異常 | | | |
| C. | 胆管拡張、胆管炎の成因となる胆管狭窄・胆管結石・ステント伴う | | | |

確診： Aのいずれか+Bのいずれか+Cのいずれかを認めるもの
疑診： Aのいずれか+BもしくはCのいずれかを認めるもの

「急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2013」より

急性胆管炎と鑑別すべき疾患

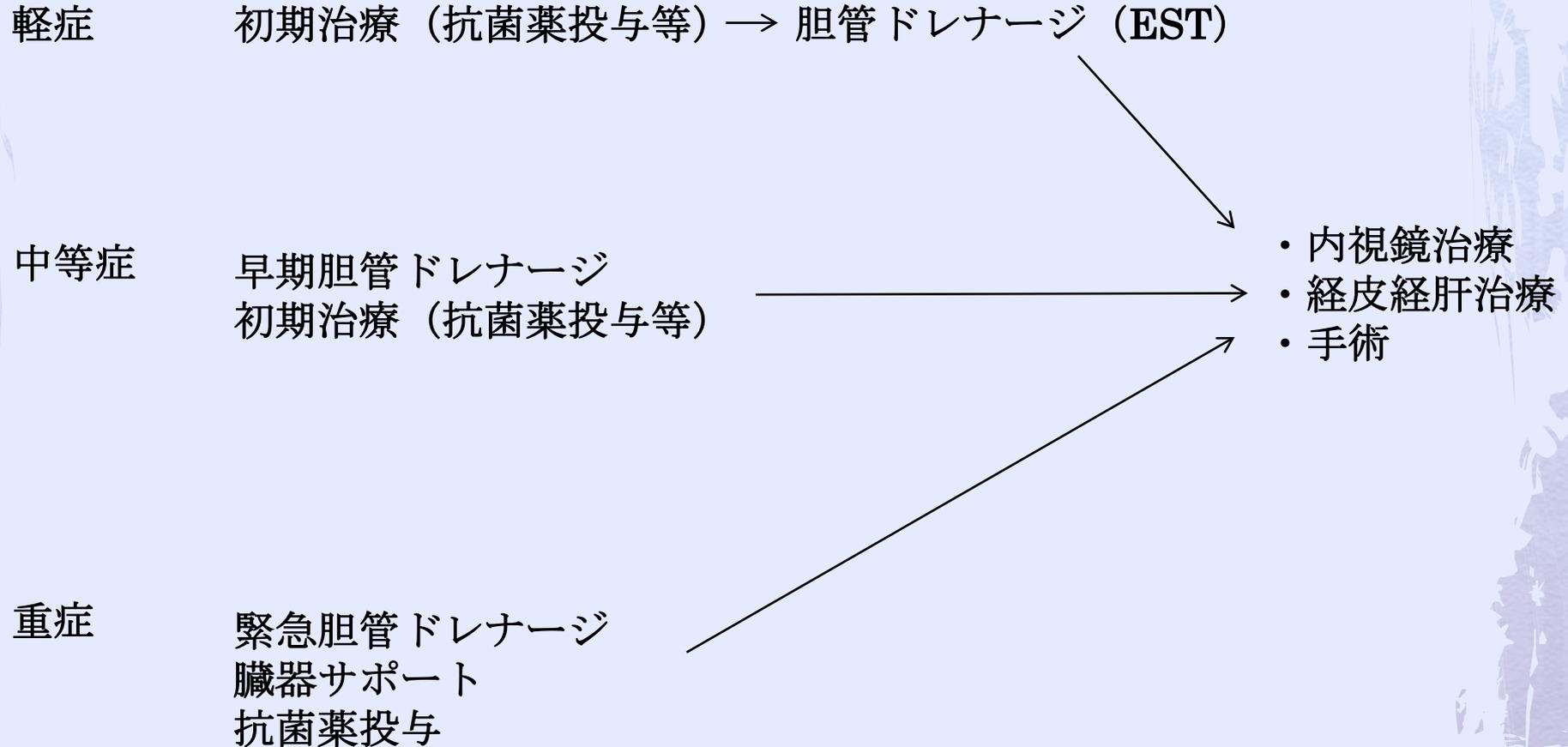
- 急性胆嚢炎
- 肝膿瘍
- 胃十二指腸潰瘍
- 急性膵炎、急性肝炎

「急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2013」より

急性胆管炎重症度判定基準

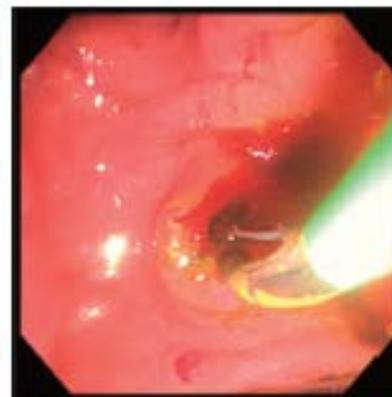
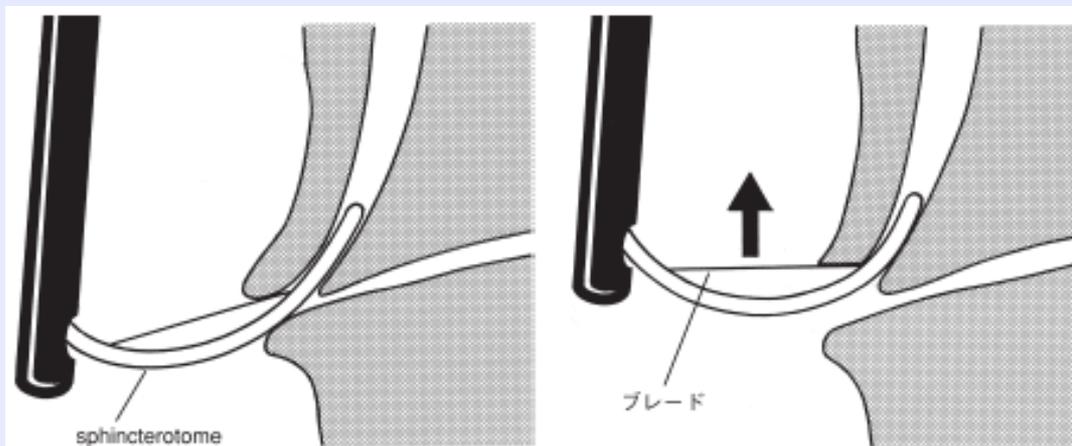
軽症	中等症、重症に満たないもの	
中等症	以下のうち2つ該当する場合	
	WBC >12000, or <4000/mm ³	強い炎症、黄疸、 低栄養、高齢
	発熱(39℃以上)	
	年齢(75歳以上)	
	黄疸(T-Bil 5mg/dL以上)	
	ALB(<健常値上限×0.73 g/dL)	
	上記に該当しなくても、初期治療に反応しなかったもの	
重症	以下のいずれかを伴う場合	
	循環障害(ドパミン \geq 5ug/kg/分orノルアドレナリン使用)	全身状態 不良
	中枢神経障害(意識障害)	
	呼吸機能障害(PaO ₂ /FiO ₂ <300)	
	腎機能障害(乏尿or Cr>2.0mg/dL)	
	肝機能障害(PT-INR >1.5)	
血液凝固異常(PLT<10万/mm ³)		

急性胆管炎の治療フローチャート

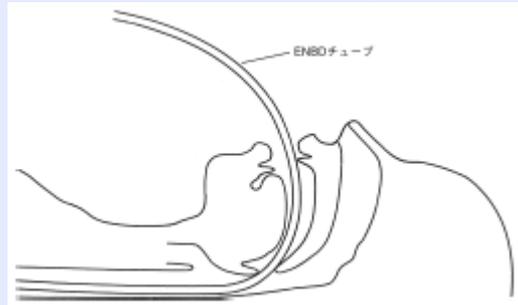
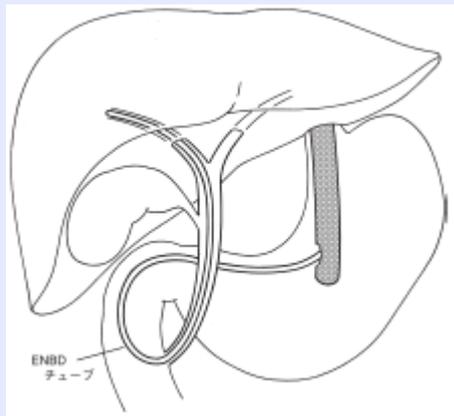
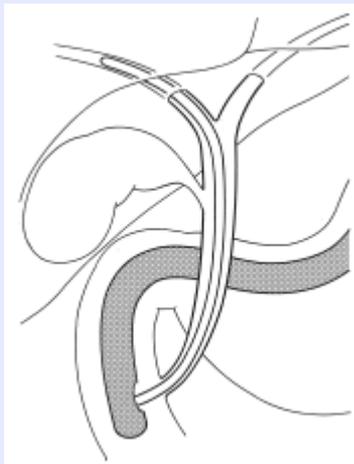
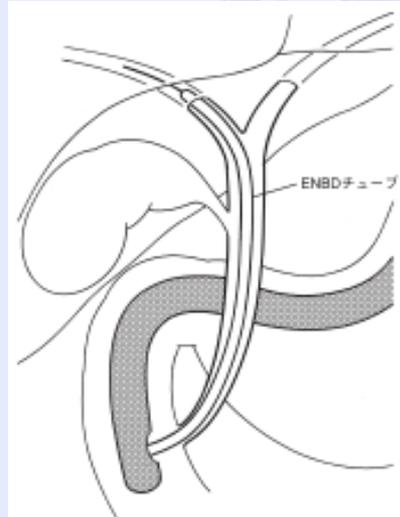
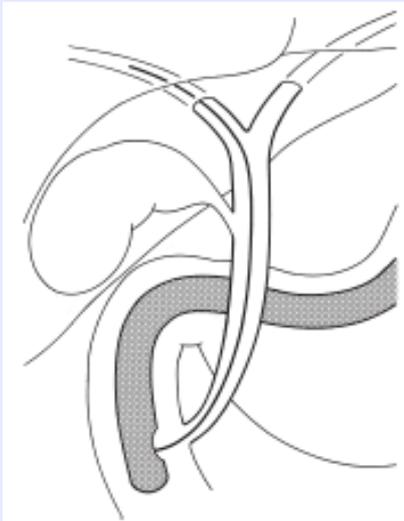
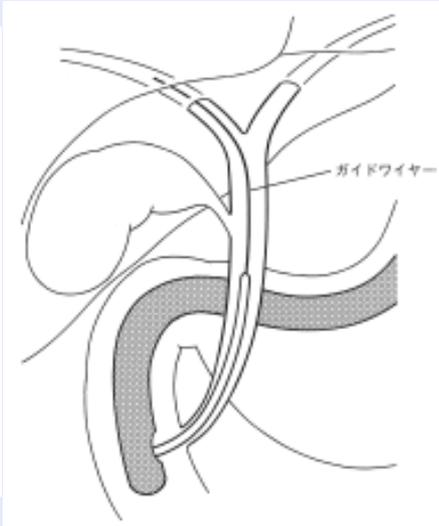
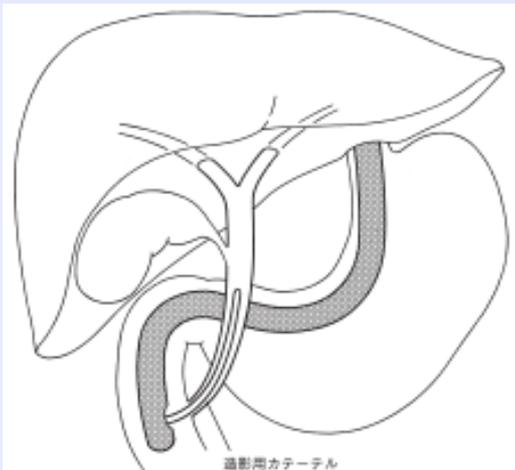


「急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2013」より

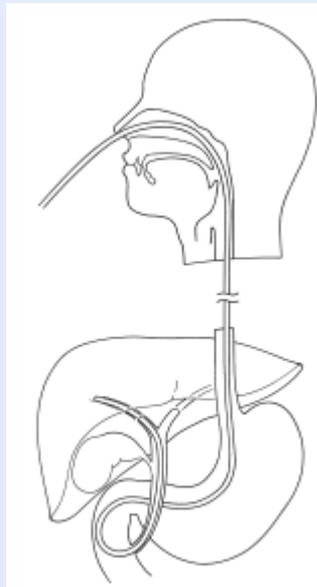
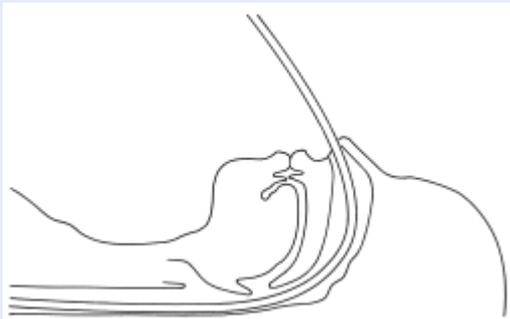
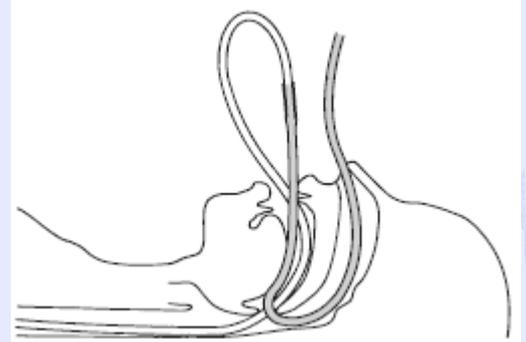
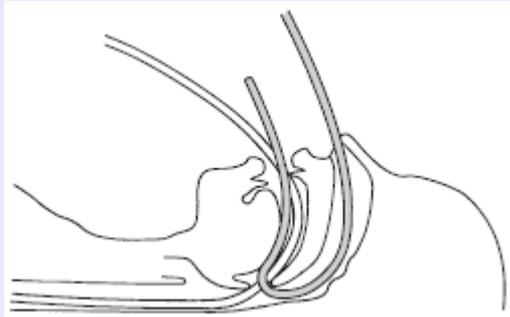
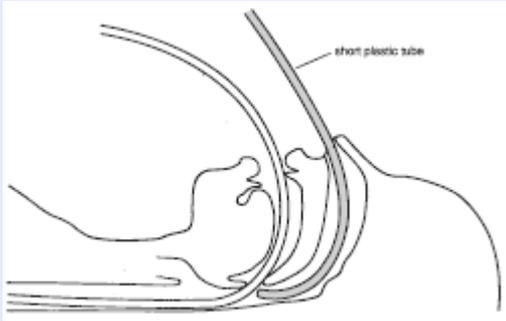
EST



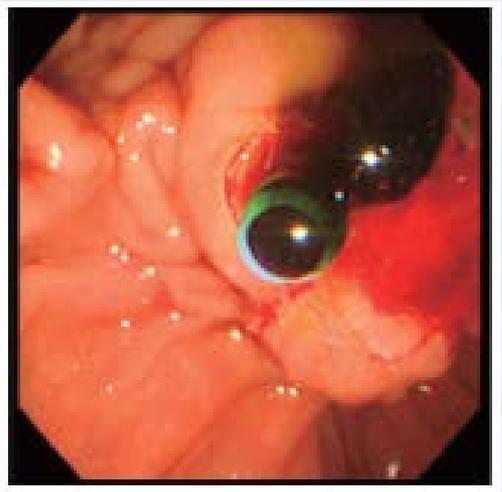
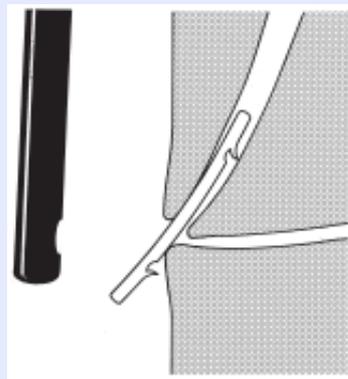
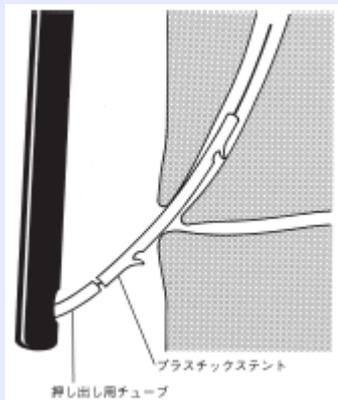
ENBD



ENBD



ERBD



本日のお話

- 胆石症、総胆管結石症
- 急性胆嚢炎、胆管炎
- 閉塞性黄疸を呈する疾患
(上記疾患、胆嚢癌、胆管癌、膵頭部癌)

本日のお話

- 胆石症、総胆管結石症
- 急性胆嚢炎、胆管炎
- 閉塞性黄疸を呈する疾患
(上記疾患、胆嚢癌、胆管癌、膵頭部癌)

		2011	2012	2013
胆道系	胆管癌	5	3	5
	乳頭部癌	2	1	2
膵癌		2	8	3

膵頭十二指腸切除術	12	13	14
-----------	----	----	----

ご静聴ありがとうございました。